

3 研究のまとめ

(1) 成果

- 実態調査を通して、様々な現状と課題が見えてきました。中でも、家庭科教育を基軸とした食育を推進する上での課題を明らかにすることができました。課題は以下の3点です。
 - ・家庭科と他教科・領域、家庭科担当教員と栄養教諭、校種間連携の在り方についての課題
 - ・児童・生徒の食生活の課題
 - ・校内における食育推進に向けての課題
- 食育の指導における系統性を確認するために、校種別に各教科・領域について関連項目の一覧表を作成することができました。教科指導の際に、食育との関連があるかどうかを一目で確認することができます。
- 社会科と家庭科の連携を図った食育の授業実践例を提案することができました。食に関する指導の内容のうち、「食を選ぶ力」の育成を目指した学習指導案を作成し、実践しました。中学校で食育の授業を行う際に、活用していただけるものと考えます。

(2) 課題

食育の指導における系統性を確認するために一覧表を作成することができましたが、校種間や教科間等の系統性や食に関する指導の内容との関連を明らかにした上で、学校で活用しやすい形の系統表を作成する必要があると考えます。また、家庭科と他教科・領域を関連させて行う場合の有用性のある実践例についても更に提案する必要があると考えます。

(3) 2年次の方向性

「食を選ぶ力」の育成に焦点を絞って、食育と各教科・領域との関連を示した系統表を完成させ、系統表の活用を含む家庭科教育を基軸とした校種間・教科間等の連携について、有効的な方法を探っていきたいと考えています。教科等横断的な指導になるように、小学校においては、学校給食の教材としての活用を中心に検討します。実態調査から課題として浮かび上がった「食を選ぶ力」を育成するための実践については1年次に提案できましたが、学校における食育を推進するための食育の位置付け及び家庭科担当と栄養教諭との連携の在り方、実行性のある年間指導計画の提案はできなかったので、それらについても研究を進めていきたいと考えています。

終わりに

食育の取組状況及び食育に対する意識についての実態調査では、県内全ての小・中・高等学校及び特別支援学校高等部の栄養教諭や家庭科主任に御協力いただきました。調査結果から、食育推進についての課題を明らかにすることができました。実践授業は武雄中学校において実施させていただきました。本研究の成果を学校の食育推進に向けた取組に活用していただければ幸いです。多くの先生方の御協力に心から感謝申し上げます。

最後に、「プロジェクト研究」研究委員の在籍校4校の皆様、並びにアドバイザーとして御助言いただきました佐賀大学大学院学校教育学研究科 岡 陽子 教授に感謝申し上げます。